

第3回子育て政策懇話会会議資料

尼崎市 総合政策局 政策部 都市政策課

1. 開会

2. これまでの議論の振り返り（10分）

3. 事務局からの説明と構成員からの意見（70分）

＜事務局説明＞

- ①子育て世帯の「ライフステージごとの負担」と「自治体の取組事例」
- ②地域保健課（母子担当保健師）へのヒアリング結果
- ③2子から多子になることで負担感が大きく増加する項目

＜構成員からのコメント＞

4. 今後の進め方について（10分）

5. 閉会

子育て政策懇話会について

目的

本市の子育て支援策の効果を客観的に分析し、

「より効果的な子育て支援策を検討するため」

※ なお、当面は「**多子世帯支援**」について重点的に検討する。



懇話会メンバー



安藤道人【財政枠】

立教大学
経済学部教授

(尼崎市学びと育ち研究所主席研究員)

専門：公共経済学・財政学・社会保障論

主著

『母の壁 子育てを追いつめる重荷の正体』（共著）



筒井姿奈子【家計枠】

日本FP協会兵庫支部
幹事

「税理士法人りぼん会計」に所属し、
3人の子育てをしながらファイナンシャル
プランナーとして活動。

日本FP協会近畿ブロック事務局から、
本懇話会の趣旨に照らして適任とのこと
で推薦あり。



瀧井智美【当事者枠】

株式会社ICB代表

キャリア開発・組織活性化・人材育成を支
援する「株式会社 ICB」を設立。

兵庫県男女共同参画審議会委員など、地方
公共団体の審議会委員の実績多数。

株式会社ワーク・ライフバランス認定上級
コンサルタント。

子ども・子育てアクションプランの概要

－ 3年間で40のアクションに50億円の投資 －



■ 3つの負担軽減

子ども・子育てに伴う「**経済的負担**」「**時間的負担**」「**心理的負担**」の軽減を目指します。

■ 3年間で50億円の投資

令和6年度から令和8年度の3か年にわたり子ども・子育て分野に**新たに総額50億円**の集中投資を行います。

※投資的経費を含みます。

※総額は現時点における3年間の目標を示したものであり、個別の事業の予算については各年の予算編成において明示します。



子ども・子育てアクションプラン40項目の取組内容

No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
1	保育料の引き下げ	●				●	
2	フリースクール等の利用者への補助	●				●	
3	子どもの医療費助成の18歳までの拡充						●
4	低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施	●				●	
5	低所得世帯向け初回産科受診料の費用助成の実施	●				●	
6	妊婦健診の費用助成の拡充	●					●
7	多子世帯向け負担軽減策の実施	●					●
8	保育所待機児童ゼロの実現		●			●	
9	児童ホーム開所時間の延長		●			●	
10	児童ホーム待機児童ゼロの実現		●			●	
11	児童ホーム等への昼食配送		●				●
12	育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和		●				●
13	母子手帳アプリの機能拡充		●				●
14	児童ホームでの連絡アプリの導入		●			●	
15	保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化		●				●

第1回で議論

第2回で議論

子ども・子育てアクションプラン40項目の取組内容

No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
16	児童ホーム・こどもクラブのWi-Fi整備		●			●	
17	学校諸費と給食費の徴収システムの改善		●				●
18	産後ケア事業の拡充			●		●	
19	24時間子育て相談窓口の開設			●			●
20	スクールソーシャルワーカーの増員			●		○	
21	子どもに関する各種データ連携による支援の強化			●		●	
22	児童相談所の開設			●		○	
23	里親制度の普及・啓発、里親による支援の充実			●			●
24	母子保健と児童福祉を一体的に対応するセンターの設置			●		●	
25	困難な状況にある子どもの居場所支援の実施			●		●	
26	里親を活用した子育て家庭のショートステイ事業の実施			●		●	
27	学校環境の整備・充実（トイレ洋式化、体育館空調整備等）			●		○	
28	学校ICT環境の整備			●		●	
29	医療的ケア児や特別な支援を必要とする子どもの受入環境の充実 （保育所、あまよう特別支援学校等）			●		○	
30	スクールロイヤーの設置			●		●	

子ども・子育てアクションプラン40項目の取組内容

No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
31	不登校児童生徒の校内居場所の設置			●		○	
32	「学びの多様化学校（いわゆる不登校特例校）」の設置			●		○	
33	日本語ボランティアの学校派遣の試行実施			●		●	
34	子育て情報発信サイトの作成				●	●	
35	図書館機能の充実（北図書館の再整備など）				●	○	
36	屋内遊戯施設「Moooviあまがさき」等におけるイベントの充実				●	○	
37	都市公園の充実（インクルーシブ公園の整備など）				●	○	
38	子育て世帯に向けた住宅確保の支援				●	○	
39	駅周辺での子育て情報等の発信				●	●	
40	仕事と子育ての両立支援 （育休取得促進、企業表彰制度の創設、女性の多様な働き方支援）				●		●



第 1 回懇話会の概要

多子世帯向け負担軽減策について（アクションプランより）

No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
1	保育料の引き下げ	●				●	
2	フリースクール等の利用者への補助	●				●	
3	子どもの医療費助成の18歳までの拡充	●					●
4	低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施	●				●	
5	低所得世帯向け初回産科受診料の費用助成の実施	●				●	
6	妊婦健診の費用助成の拡充	●					●
7	多子世帯向け負担軽減策の実施	●					●
8	保育所待機児童ゼロの実現		●			●	
9	児童ホーム開所時間の延長		●			●	
10	児童ホーム待機児童ゼロの実現		●			●	
11	児童ホーム等への昼食配送		●				●
12	育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和		●				●
13	母子手帳アプリの機能拡充		●				●
14	児童ホームでの連絡アプリの導入		●			●	
15	保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化		●				●

R7予算への反映が
論点に

子育て政策懇話会での検討状況（第1回 懇話会）

【ここまでの主な議論（第1回）】

(1) 子育て世帯に対する経済的支援について

- ・ 教育費の負担が大きく、公立高校でも難関大に進学できる教育環境の充実が重要。
- ・ 「父親・母親支援」「コワーキング等の働きやすい環境」
「病児保育等の『育児と仕事を両立しやすくする制度』の充実が重要」

(2) こども医療費助成のあり方

- ・ 高校生の助成はありがたいが、転居の動機にはならない。居住地選択には教育の影響が大きい。
- ・ 一方で、自治体間競争もあり、何もしないというのは難しいのではないかと。

(3) その他の子育て支援

- ・ 神戸市の「のびのびパスポート（小中学生が無料で施設を利用できる）」は子育て家庭は助かる。
- ・ 「子育て家庭を歓迎している」というブランディングが重要。
- ・ 医療費助成のように、近隣自治体との競争分野は引き続き意識することが必要。
- ・ 一方で、「母親の就労支援」「生活・休息支援」「父親の家事育児支援」が必要。
- ・ 出産を機に正社員でなくなった母親が再び働けるようにすれば、所得保障にもなる。



第2回懇話会の概要

多子世帯向け負担軽減策について（アクションプランより）

No	項 目	3つのサポート+ 1				実施時期	
		家計	ゆとり	安心	プラス1	R6	R7以降
1	保育料の引き下げ	●				●	
2	フリースクール等の利用者への補助	●				●	
3	子どもの医療費助成の18歳までの拡充	●					●
4	低所得世帯向け新生児聴覚検査の費用助成の実施	●				●	
5	低所得世帯向け初回産科受診料の費用助成の実施	●	R7年度以降検討 (具体的な取組が未定)			●	
6	妊婦健診の費用助成の拡充	●					●
7	多子世帯向け負担軽減策の実施	●					●
8	保育所待機児童ゼロの実現		●			●	
9	児童ホーム開所時間の延長		●			●	
10	児童ホーム待機児童ゼロの実現		●			●	
11	児童ホーム等への昼食配送		●				●
12	育児休業中の児童ホーム利用条件の緩和		●				●
13	母子手帳アプリの機能拡充		●				●
14	児童ホームでの連絡アプリの導入		●			●	
15	保育所、幼稚園、学校の諸手続きのオンライン化		●				●

子育て政策懇話会での検討状況（第2回 懇話会）

【ここまでの主な議論（第2回）】

(1) 各委員からのコメント

- ・ 子育てによる母親の所得減少等の状況は「チャイルド・ペナルティ」であり、課題である。
- ・ 多子世帯実現には、母親支援だけでなく、「父親や企業の働き方改革」が必要。
- ・ 職住近接オフィス・長期休暇中の食事支援等、子育て世帯の具体的な支援策が重要。
- ・ 多子世帯は家計負担が大きい。「産んでもなんとかなる」という安心感の醸成が重要。

(2) 多子世帯支援（経済的支援）について

- ・ 多子世帯を対象とすると負担は小さいが、2子以下世帯への公平性や本質的な効果は評価が分かれる。
- ・ 給付型の政策は、減少した負担がそのまま他分野での支出に置き換わる可能性。
- ・ その不安がなく、負担軽減が実感しやすい分野への投資が有効か。（通学定期代支給・給食費無償化）

(3) 多子世帯支援（その他の支援）について

- ・ 「送迎支援」「職住近接」「病児保育」「長期休暇中の食事支援」等、現物・時間的支援が望まれる。
- ・ きょうだい間で年齢差があると、2子3子向け支援が対象外に。年齢差がある多子世帯支援が望まれる。
- ・ 育休が長いとキャリアへの影響がある。早期復職・柔軟な働き方ができる企業の増加が重要。
- ・ 公教育のイメージアップが必要。学校にコワーキングスペースを設けるなども検討しては。
- ・ 尼崎市独自のメッセージ性をもった政策展開が望まれる。



これまでに議論に活用した資料等

これまでに活用した資料等（第1回）

【第1回】

(1) 委員提供資料

- ・ 自治体間競争に関する考察（安藤構成員）
- ・ 働き方・子育てとの両立に関する企業・自治体の取組（瀧井構成員）
- ・ ライフステージ別の家計モデル（筒井構成員）

(2) 事務局提供資料

- ① 子育て負担軽減策の自治体間比較表（妊婦検診・保育料・給食費・高校授業料）
- ② 子ども・子育てアクションプランの内容
- ③ 本市のこども医療費の制度と他都市のこども医療費の状況

これまでに活用した資料等（第2回）

【第2回】

(1) 委員提供資料

- ・ 「チャイルド・ペナルティ」の世界情勢と日本の自治体にできること（安藤構成員）
- ・ 多子世帯が求める支援・まちのブランディング（瀧井構成員）
- ・ 多子世帯のライフステージ別の家計負担状況（筒井構成員）

(2) 事務局提供資料

- ① 前回の振り返りと施策への反映状況（子ども医療費など）
- ② 子ども・子育てアクションプランの取組状況
- ③ 多子世帯支援の検討資料（候補案の提示・他都市の取組事例など）
- ④ 国・県等の多子世帯支援（児童手当・大学等無償化・私立高授業料軽減・県住優遇）
- ⑤ 尼崎市の多子世帯支援策（保育料・児童ホーム）
- ⑥ 多子世帯の現状分析（人数推計・他都市調査結果からニーズの推定など）
- ⑦ 多子世帯支援の他都市比較（保育料・児童ホーム・給食費）
- ⑧ 給食費に関する国の動向・本市で第3子無償化等を実施した際の費用の試算
- ⑨ 他都市の多子世帯支援の事例（経済的負担軽減・その他の支援）



第3回懇話会の論点について

第3回懇話会の論点について

【情報のインプットについて】

- ◎ 検討材料はすでに提示し、一定議論を行ったものの、
論点を絞った議論や、多子世帯支援の具体案の議論は十分でない。
- ◎ 子育て世帯・多子世帯のニーズを深掘りし、テーマを絞って意見交換してはどうか。

【具体的な検討内容案】

新たな資料に基づき、具体的な政策を検討する。

資料①：子育て世帯の「ライフステージごとの負担」と「自治体の取組事例」

資料②：地域保健課（母子担当保健師）へのヒアリング結果

資料③：2子から多子になることで負担感が大きく増加する項目

【構成員に期待する役割】

- ◎ 資料①～③について、コメントをいただく。

資料① 子育て世帯のライフステージごとの負担と他都市の取組事例

	経済的負担（家計）	時間的負担（ゆとり）	心理的負担（安心）	クラス1 （留意等） アクションプラン
学 前 ・ 幼 学 期	子育て世帯の負担等 該当するアクションプラン項目	子育て世帯の負担等 該当するアクションプラン項目	子育て世帯の負担等 該当するアクションプラン項目	
	区市 01 保育料の引き下げ 区市 04 衛生保健費減額補助 区市 05 初等保健費補助 区市 06 妊産婦健診費用助成 区市 07 多子世帯負担軽減策	区市 08 保育所待機児童ゼロ／区市 09 児童ホーム開設促進 区市 10 児童ホーム待機児童ゼロ／区市 11 児童ホーム給食配送 区市 12 育児中児童ホーム利用促進 区市 13 母子手帳アプリ機能拡充 区市 15 保育園等手続オンライン化	区市 18 産後ケア事業拡充／区市 19 24時間子育て相談窓口 区市 21 子ども支援データ連携強化／区市 22 児童相談所開設 区市 23 保健制度普及・支援充実 区市 24 母子保健連携センター 区市 25 子ども相談支援センター／区市 26 保健活用シートステイ 区市 29 産後のケア受入環境充実	
	本市の取組 【①一時預かり事業】 ・市内の保育所・園で実施 ・保護者の「ワークライフ」など ・1日2,000～3,000円程度 【②送迎負担】 ・ファミリボなど	①一時預かりによるゆとりの創出 ・休息・自分時間の確保など 本市の取組 【①一時預かり事業】 ・市内の保育所・園で実施（再掲） 【②送迎負担】 ・ファミリボなど（再掲） 【③病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）	①一時預かりで心身の負担軽減 ・休息・自分時間の確保など ②子の病気の対応 ・病児の対応による心身の負担	【①一時預かり事業】 ・市内の保育所・園で実施（再掲） 【②病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲）
	①一時預かりの金銭的負担 ・1回あたり数千円の自己負担 ②自転車送迎困難時の交通費 ・バス、タクシー等の利用負担	②多子送迎の困難化・時間差 ・送迎時間の短縮 ・きょうだいで別の保育施設に入所 ③子の病気の対応 ・急なお迎え、仕事への影響の負担	③子の病気の対応 ・急なお迎え、仕事への影響の負担	【①一時預かり負担】 ベビシッター補助（東京都） 【②送迎負担】 送迎保育ステーション（横浜市・神戸市） 神戸市（無償）／横浜市（2,000円または1日100円）
小 学 校	③学校関連の出費 ・給食費／副食料費 ④部活動・習い事 ・送迎費用の負担 ⑤塾・家庭教師など ・教育費	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担 ⑥子の病気の対応 ・急なお迎え、仕事への影響の負担	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担 ⑥子の病気の対応 ・急なお迎え、仕事への影響の負担	③子の病気の対応 ・病児の対応による心身の負担 ④学校での悩みなど ・いじめ、不登校、虐待等の相談
	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・就学援助費の上乗せ支給 ・児童ホームの2子（半額）3子（全額）減免 他都市の事例など	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・ファミリボなど 【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲）	本市の取組 【③学校での悩みなど】 ・いじめ、不登校、虐待等の相談	【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲） 【その他】 ・各種相談窓口
	【③学校関連の出費】 ・給食費無償化（いずみ市/小中） ・副食料費の全額補助（千代田区/小中） 【④習い事 ⑤塾等教育費】 ・送迎タクシー（豊中市 5-12歳） ・習い事・塾代助成（大阪市/小5-中3）	【④送迎負担】 ・送迎タクシー（豊中市 5-12歳）（再掲）	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
	アクションプラン 区市 02 フリースクール利用者補助 区市 07 多子世帯負担軽減策	アクションプラン 区市 09 児童ホーム開設促進／区市 10 児童ホーム待機児童ゼロ 区市 11 児童ホーム給食配送 区市 12 育児中児童ホーム利用促進 区市 14 児童ホーム連絡アプリ／区市 16 児童ホームWi-Fi整備 区市 17 給食費等給付システム	アクションプラン 区市 19 24時間子育て相談窓口／区市 20 スクール・ソーシャル・ワーク推進 区市 21 子ども支援データ連携強化／区市 22 児童相談所開設 区市 23 保健制度普及・支援充実 区市 24 母子保健連携センター 区市 25 子ども相談支援センター／区市 26 保健活用シートステイ 区市 27 学校連携推進事業／区市 28 学校ICT連携推進 区市 31 不登校児童校内居場所設置／区市 32 日本橋区フリースクール開設	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
中 学 校	③学校関連の出費 ・給食費／副食料費 ④部活動・習い事 ・送迎費用の負担 ⑤塾・家庭教師など ・教育費	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	③学校での悩みなど ・いじめ、不登校、虐待等の相談
	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・就学援助費の上乗せ支給 他都市の事例など	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・ファミリボなど 【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲）	本市の取組 【③学校での悩みなど】 ・いじめ、不登校、虐待等の相談	【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲） 【その他】 ・各種相談窓口
	【③学校関連の出費】 給食費無償化（いずみ市ほか）／副食料費の全額補助（千代田区） 【④習い事 ⑤塾等教育費】 習い事・塾代助成（大阪市）	【④送迎負担】 ・送迎タクシー（豊中市 5-12歳）（再掲）	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
	アクションプラン 区市 02 フリースクール利用者補助 区市 07 多子世帯負担軽減策	アクションプラン 区市 09 児童ホーム開設促進／区市 10 児童ホーム待機児童ゼロ 区市 11 児童ホーム給食配送 区市 12 育児中児童ホーム利用促進 区市 14 児童ホーム連絡アプリ／区市 16 児童ホームWi-Fi整備 区市 17 給食費等給付システム	アクションプラン 区市 19 24時間子育て相談窓口／区市 20 スクール・ソーシャル・ワーク推進 区市 21 子ども支援データ連携強化／区市 22 児童相談所開設 区市 23 保健制度普及・支援充実 区市 24 母子保健連携センター 区市 25 子ども相談支援センター／区市 26 保健活用シートステイ 区市 27 学校連携推進事業／区市 28 学校ICT連携推進 区市 31 不登校児童校内居場所設置／区市 32 日本橋区フリースクール開設	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
高 校	③学校関連の出費（高校） ・授業料／通学定期 ④医療費負担 ・医療費	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	③学校での悩みなど ・いじめ、不登校、虐待等の相談
	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・就学援助費の上乗せ支給 他都市の事例など	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・ファミリボなど 【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲）	本市の取組 【③学校での悩みなど】 ・いじめ、不登校、虐待等の相談	【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲） 【その他】 ・各種相談窓口
	【③学校関連の出費】 給食費無償化（いずみ市ほか）／副食料費の全額補助（千代田区） 【④習い事 ⑤塾等教育費】 習い事・塾代助成（大阪市）	【④送迎負担】 ・送迎タクシー（豊中市 5-12歳）（再掲）	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
	アクションプラン 区市 02 フリースクール利用者補助 区市 07 多子世帯負担軽減策	アクションプラン 区市 09 児童ホーム開設促進／区市 10 児童ホーム待機児童ゼロ 区市 11 児童ホーム給食配送 区市 12 育児中児童ホーム利用促進 区市 14 児童ホーム連絡アプリ／区市 16 児童ホームWi-Fi整備 区市 17 給食費等給付システム	アクションプラン 区市 19 24時間子育て相談窓口／区市 20 スクール・ソーシャル・ワーク推進 区市 21 子ども支援データ連携強化／区市 22 児童相談所開設 区市 23 保健制度普及・支援充実 区市 24 母子保健連携センター 区市 25 子ども相談支援センター／区市 26 保健活用シートステイ 区市 27 学校連携推進事業／区市 28 学校ICT連携推進 区市 31 不登校児童校内居場所設置／区市 32 日本橋区フリースクール開設	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
大 学 以 上	③学校関連の出費（大学） ・授業料／生活費	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	④部活動・習い事 ・送迎の時間的負担 ⑤塾など ・送迎の時間的負担	③学校での悩みなど ・いじめ、不登校、虐待等の相談
	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・就学援助費の上乗せ支給 他都市の事例など	本市の取組 【③学校関連の出費】 ・ファミリボなど 【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲）	本市の取組 【③学校での悩みなど】 ・いじめ、不登校、虐待等の相談	【④病児保育】 ・訪問型病児保育サービス（10月～）（再掲） 【その他】 ・各種相談窓口
	【③学校関連の出費】 給食費無償化（いずみ市ほか）／副食料費の全額補助（千代田区） 【④習い事 ⑤塾等教育費】 習い事・塾代助成（大阪市）	【④送迎負担】 ・送迎タクシー（豊中市 5-12歳）（再掲）	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口
	アクションプラン 区市 02 フリースクール利用者補助 区市 07 多子世帯負担軽減策	アクションプラン 区市 09 児童ホーム開設促進／区市 10 児童ホーム待機児童ゼロ 区市 11 児童ホーム給食配送 区市 12 育児中児童ホーム利用促進 区市 14 児童ホーム連絡アプリ／区市 16 児童ホームWi-Fi整備 区市 17 給食費等給付システム	アクションプラン 区市 19 24時間子育て相談窓口／区市 20 スクール・ソーシャル・ワーク推進 区市 21 子ども支援データ連携強化／区市 22 児童相談所開設 区市 23 保健制度普及・支援充実 区市 24 母子保健連携センター 区市 25 子ども相談支援センター／区市 26 保健活用シートステイ 区市 27 学校連携推進事業／区市 28 学校ICT連携推進 区市 31 不登校児童校内居場所設置／区市 32 日本橋区フリースクール開設	【④学校での悩みなど】 ・各種相談窓口

【多子世帯等の負担感について】

- ① 保育所の送迎に関する負担が大きい。（自転車が使えない状況での送迎負担など）
- ② きょうだいの病気時に頼れる相手がいない。（お迎えも病院も行けない）
また、一時保育の利用も有償であり、負担。
- ③ 複数同時の子どもの世話の困難さ。
長期休暇中に「保育所利用を控える要請」があり、対応に大きな負担。
※ 集まりや外出時に周囲に迷惑をかけてしまうため、外出自体を避けてしまう。
※ GW中に保育所の利用を控えるよう要請され、乳児がいる状態で2週間家で保育し、疲弊など。

【考えられる事業の例】

- ① 送迎保育ステーション（流山市・神戸市・西宮市）、送迎タクシー（豊中市）
- ② 病児保育に関する支援（尼崎市で実施予定の事業の多子世帯優遇など）
- ③ 保育士の労働環境の改善など。

【構成員からのコメント（詳細別紙）】

※ ヒアリングを実施し、記載予定

資料③ 2子から多子になることで大きく負担が増す項目について

【物理的な制約（≒経済的負担）】

- ① 保育所等への自転車での送迎が不可能（自転車の同乗は子ども2人まで）
- ② 乗用車の定員・居住空間の不足（自動車の買い替え・部屋数不足による転居）

【時間的な制約（≒時間的負担）】

- 再① 保育所等への自転車での送迎が不可能（徒歩やバスでの時間の負担）
- ③ 入学式などの学校行事出席の負担増（休暇取得の困難化）
- ④ 子の病気への対応（きょうだいで連続で感染するリスクの上昇など）
- ⑤ 習い事の送迎（保護者の対応の限界）

【心理的な負担】

- ⑥ 子育てに関する負担の直接的な負担（→ 子の一時預かりで対応など）
- ⑦ 子育てに関するメンタル・心理面での負担
（→ 子育てサロン／子育て相談／夫婦カウンセリングで対応など）

<対策案>

【物理的な制約（≒経済的負担）】

- ①保育所の送迎支援（送迎ステーション／流山市ほか ※ 本市はファミサポの制度はあり）
- ②住宅取得支援（※ No.38「子育て世帯に向けた住宅確保の支援」）

【時間的な制約（≒時間的負担）】

- ①保育所の送迎支援（送迎ステーション／流山市ほか ※ 本市はファミサポの制度はあり）
- ③学校行事出席（※ No.40「仕事と子育ての両立支援」）
- ④子の病気への対応（訪問型病児保育）
- ⑤習い事の送迎（送迎タクシー／豊中市 ※ 本市はファミサポの制度はあり）

【心理的な負担】

- ⑥子の一時預かり（※ 本市では保育所・ファミサポ・ショートステイの制度はあり）
- ⑦子育てサロン（※ つどいの広場／いくしあ・保育所での子育て相談の制度はあり）

1. 開会

2. これまでの議論の振り返り（10分）

3. 事務局からの説明と構成員からの意見（70分）

<事務局説明>

- ①子育て世帯の「ライフステージごとの負担」と「自治体の取組事例」
- ②地域保健課（母子担当保健師）へのヒアリング結果
- ③2子から多子になることで負担感が大きく増加する項目

<構成員からのコメント>

4. 今後の進め方について（10分）

5. 閉会